



婦防みやぎ



題字：宮城県知事
村井 嘉浩 様

「令和元年度 北海道・東北ブロック 婦人（女性）防火クラブ幹部地域研修会」開催

令和元年9月12日から13日にかけて、令和元年度北海道・東北ブロック婦人（女性）防火クラブ幹部地域研修会を開催しました。

この研修会は、北海道と東北6県の婦人（女性）防火クラブにおける団体相互の交流と活動内容などの情報交換を行うことにより、組織の一層の連携等を図ることを目的とし、毎年各道県で輪番により開催されており、今年度は宮城県が担当県でした。

初日12日には、東北大学百周年記念会館、川内萩ホールに、400名を超える県内各地区支部の皆様に参加いただき、代表地区から活動事例等の発表と消防庁からの講演を聴講いただきました。

事例発表では、仙台市宮城野地区の小松さんから「地域に根差した活動」と題して、地区内の多くの支部・クラブが連携しながら、地域安心応援隊として明るく精力的に草の根的運動を展開している様子を紹介していただきました。次に亘理地区の平間さんから、「人生すべて 当たりくじ」と題して、東日本大震災によりゼロから再起したクラブ活動の軌跡と目指すリーダー像について発表いただきました。最後

に気仙沼本吉地区の小原さんからは「羅針は光れり」と題しまして、①家庭から火を出さない②地域の人を守る③有事の際の助け合いの3つのモットーから、時代に合わせたクラブ運営理念や赤十字奉仕団との関わりを通じた地域との結びつきについて発表いただきました。

続く講演では、総務省消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室住民防災係の高山係長から、「女性（婦人）防火クラブと地域防災力の充実強化」と題しまして、各市町村の取組事例や今後の国の取組等について、様々な災害体験からの教訓を踏まえ、ご講演いただきました。

そして、防火音頭発祥の地である、黒川地区の婦人防火クラブ音頭普及会から、婦人防火クラブ音頭の披露があり、参加者全員で楽しく踊りました。



研修会の最後に、「自分達の地域から火災を出さない、自分達の地域は自分達で守る」というスローガンを全員で読み上げ、防火・防災を改めて誓い合い、研修会を終了しました。

13日は、閑上地区の復興状況について、日和山のある名取市震災メモリアル公園や集団移転促進地区のかわまちテラス等を、名取市商工観光課の中澤さんから、ご案内いただきました。研修の最後として、昨年度に仙台空港エリアに復興した宮城県防災ヘリコプター管理事務所を訪れ、最新の設備と機体を見学させていただきました。各道県会長の皆様はとても満足されて帰路につきました。来年度は青森県で開催されます。なお、12日午前、研修会に先立表彰式が行われました。表彰されました方々については下記のとおりです。



◆令和元年度安全功労者総務大臣表彰披露

八木 彌生（元副会長）

◆令和元年度無火災地域推進功労表彰

- 婦人防火クラブの部
仙台市太白地区婦人防火クラブ連絡協議会
唐桑町婦人防火クラブ連合会
- 幼少年消防クラブの部
湯元保育所幼年消防クラブ、気仙沼市立階上中学校少年消防クラブ、美田園わかば幼稚園幼年消防クラブ、矢本はなぶさ幼稚園幼年消防クラブ、果樹園の森こども園

◆令和元年度婦人防火クラブ員永年功労表彰

再名生順子（栗原市）	新木 順子（黒川地区）
宮崎由美子（大和町宮床）	佐藤 秀子（石巻市北上）
嶋田 陳子（亘理地区）	大平 榮子（大河原町）
小山富喜美（気仙沼市羽黒山）	

◆令和元年度宮城県婦人防火クラブ連絡協議会会長表彰

八木 彌生（元副会長）	穀田 梅子（元理事）
菅原 政子（元理事）	高橋 理恵（元理事）
嶋田 陳子（元理事）	古内 昭子（元監事）
咲間 政子（元監事）	

人とのつながり

宮城県婦人防火クラブ連絡協議会

会 長 後 藤 重 子



皆様には、日頃より防火・防災の担い手としてご活躍
いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

昨年は、台風19号、21号などにより、県内各地で甚大
な被害がありました。被災に遭われました皆様について
は、心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災の発生から、今年でおよそ9年となりま
す。先日、北海道・東北ブロック婦人(女性)防火クラブ幹
部地域研修会で、震災で大きな被害を受けた、名取市閑
上地区を視察しました。かわまちテラスや、震災メモリアル
公園などには県内外からたくさんの方が訪れており、平日
にもかかわらず、賑わっている様子をこの目で見て、震災
から立ち上がっていく姿を、改めて実感したところでした。

さて、婦人防火クラブについてですが、「自分たちの
地域から火災を出さない・自分たちの地域は自分たちで
守る」を合い言葉としています。この言葉の根底にあるこ
とは、タイトルにもつけさせていただいているとおり、「人
とのつながり」だと思っています。地域の方々とのつなが
りを大切にする事で築かれる信頼関係こそが、非常時
などにおける連携力になるのだと信じています。

最後に、冬は火災が発生しやすい季節なので、気をつけ
ることはもちろんですが、インフルエンザ、風邪など体調を
崩しやすい時期でもあります。皆様、お体には気をつけてく
ださい。今後とも、元気に皆様と活動を続けて参りたいと
思っておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

宮城県婦人防火クラブ連絡協議会役員名簿 (令和2年1月1日現在)

役 職	氏 名	地 区 名
会 長	後 藤 重 子	塩 釜
副会長	佐々木 文 子	大 崎
〃	高 橋 則 子	名 取
〃	山 田 はるみ	仙 台 若 林
理 事	佐 藤 幸 子	仙 台 青 葉
〃	小 松 まさ子	仙 台 宮 城
〃	野 田 幸 代	仙 台 宮 城 野
〃	鶴 島 浩 子	仙 台 太 白
〃	今 野 なみい	仙 台 泉
〃	郷 内 妙 子	岩 沼

役 職	氏 名	地 区 名
理 事	佐 藤 千 賀 子	登 米
〃	菅 原 和 子	栗 原
〃	松 崎 明 子	黒 川
〃	佐々木 貞 子	石 巻
〃	平 間 文 子	亘 理
〃	青 木 孝 子	仙 南
〃	吉 田 ふみ子	気仙沼・本吉
監 事	今 野 清 子	仙 台 太 白
〃	板 橋 美 保	名 取



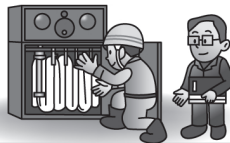
広告

～県民の安全・安心な暮らしを支えて～

消防用設備等の適正な点検により安全・安心な毎日を支えます

宮城県と災害時における応援協力に関する協定の締結をしています。

- ・ 公共施設の消防用設備等の緊急点検
- ・ 要請により消防用設備等の応急復旧の為の技術者を派遣
- ・ 緊急避難施設への簡易トイレ、消火器などの提供
- ・ 協会会員の所有する給水車等、機材とオペレーターの提供



一般社団法人宮城県消防設備協会

会長 櫻井 勝雄

〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-5-22 電話 022-223-3650

全国統一ラベル

消防用設備等の適正点検の証!!



消 火 器 用



消火器以外の消防設備等用

宮城県消防設備協会

検索

宮城県婦人防火クラブの皆様へ

宮城県知事 村 井 嘉 浩



婦防みやぎ第39号の発行、誠にありがとうございます。皆様には、日頃から家庭や地域の防火・防災活動の推進に御尽力いただいております、心から感謝申し上げます。

昨年は、台風第19号の豪雨により、本県も河川の破堤や越水・土砂災害等により大きな被害を受けました。お亡くなりになられた方々の御冥福を心からお祈りいたしますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

このような災害が全国的に多発している状況において、クラブ員数が32万人を越え、日本一の規模を誇っております本県の婦人防火クラブの皆様が、その組織力を存分に生かし、防火・防災活動に積極的に参加され、非常に頼もしく感じております。婦人防火クラブは災害時における自主防災組織として、地域の中で無くてはならない存在として、県民からの期待はますます高まっていることと思います。

昨年は、平成が幕を閉じ、令和の元号の下、新たな時代がスタートしました。震災から間もなく9年が経過する

ところですが、気仙沼大島大橋の開通や、民営化から4年目を迎えた仙台空港の利用者が過去最高を更新するなど、明るい話題も県内各地から聞こえてきています。

今年は「宮城県震災復興計画」の総仕上げとなる大切な年です。県民の皆様一人一人が「創造的な復興」を実感できるよう、新たな取組にも積極果敢にチャレンジしたいと考えておりますので、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。



ひとつずつ いいね！で確認 火の用心

(2019年度全国統一防火標語)



広告

NITTAN

ニッタン株式会社
東北支社



〒980-0021 仙台市青葉区中央一丁目6番35号
東京建物仙台ビル4階

電話 (022) 266-6111

FAX (022) 266-6119

http://www.nittan.com



地域の担い手として

仙台市若林地区婦人防火クラブ連絡協議会

副会長 古川 ケイ子

私達の住んでいる若林区は、仙台駅東口から太平洋までの地域で、仙台市の南東部に位置しています。仙台市内の中でも海沿いに位置することから、震災による沿岸部の被害も大きく震災遺構の荒浜小学校は今も当時の姿を残しています。

また、平成27年の仙台市地下鉄東西線の開業に伴い、荒井駅には、せんだい3.11メモリアル交流館が作られるとともに、以前は田畑が多かったこの地域には新しい住宅やマンション、商業施設、コンサートホールなどが建設され、新たな街の賑わいが増えました。

私の住んでいる地域をご紹介しますと、古寺や史跡の宝庫で由緒あるお寺が連なる中、若林地区で唯一の国指定重要文化財、陸奥国分寺薬師堂があります。普段から多くの参拝客が訪れているほか、月1回の「手作り市」という催物が開かれています。これは、野菜や雑貨などの自慢の手作り品を持ち寄り、境内や隣接する公園等で販売するというもので、かわいらしいテントが約120店ほど建ち並びます。この手作り市を求めて、県内外から大勢の人々が薬師堂に訪れます。多くの人々から愛される地域の誇りである薬師堂を火災から守るため、「自分の家から火事が出さない。私達の誇りである地域の文化財を火災から守る。」をスローガンとして、文化財防火デーには地域の皆さんとともに婦人防火クラブ員も訓練に力を入れています。昨年10月末、沖縄の首里城が火災となり大きな被害を受けたことには、他人ごとではなく、本当に心を痛めました。改めて地域の誇りである薬師堂を火災から守るという決意を新たにしました。

次に、私達の活動をご紹介します。私達若林地区婦人防火クラブは、10支部126クラブ約17,000名のクラブ員



◀ 手作り市の風景

で構成されています。力を入れている活動の一つに「がんばろう!仙台っ子キャンペーン」があります。この活動は、新小学1年生を対象に若林区内の全小学校を訪問し、地震、津波から命を守ることの大切さを伝える活動です。内容は、防災に関する子供向けアニメを映写した後、防災に関するお話をし、オリジナルの地震防災啓発用クリアファイルを贈呈しています。このキャンペーンは震災後から毎年行っているもので、今では若林区に定着したキャンペーンとして子供達や学校の先生に親しまれています。

他にも代表的な活動として、ミニ纏作りを通して市民の皆さんに火災予防を啓発しています。身の周りにあるペットボトルの蓋や割り箸を使って作成するミニ纏作りは、イベントでは大人気です。

1年を通して様々な活動をしていますが、その総仕上げとして毎年度末に「わかばの輪」というカラー刷りの広報誌を発行しており、地区と10支部の1年間の活動を地域の方々に紹介し、広く応援していただいています。

今後も、私達若林地区婦人防火クラブ員が、地域の安心安全を守る担い手として、一丸となり活動していきたいと思います。



▶ がんばろう!
仙台っ子キャンペーン



▶ 子供向けイベントでの
ミニ纏作り



婦人防火クラブの現状と必要性

登米市東和支部婦人防火クラブ

支部長 及川清子

登米市東和地区は北上山地と北上川に囲まれた山間地域で、米谷、米川、錦織の3つの地区を合わせて25の行政区で構成されています。東和支部婦人防火クラブでは、普通救命講習、災害時の料理教室などの事業を実施しているほか、東和地区防災訓練や東和地区文化財防火デー防火訓練へ参加しています。

毎年開催される防災訓練では、約300食の非常食を調理し訓練参加者に提供しています。

また、災害時の食生活を想定しての料理教室を市の栄養士さんに協力をいただき、実践的な献立の調理実習をしています。災害時には、断水や商店の閉鎖で物資の調達ができないことを想定し、家庭にある食材でも調理が可能な内容で実施しています。この料理教室は大変好評で参加者も親睦を深めながら実習をしています。また、この事業の実践として、本年度の防災訓練では、ビニール袋を使った炊飯など、湯せんによる大量調理にも挑戦しました。

近年課題とされてきたことは、会員の担い手不足が挙げられます。時代とともに会員の被雇用者化が進み、会員や役員を担う人材不足となりました。現在登米市では、全行政区に自主防災組織が結成されており、災害時の住民による初動活動と相互支援を期待して設置



されたものですが、支援という動きが婦人防火クラブの活動に似通っていることもあり、婦人防火クラブの廃止と自主防災組織への吸収

を行う地区が増加してきました。当婦人防火クラブは、昭和40年代に発足し、町内に8つのクラブが設置されていましたが、平成29年には4つにまで減少し、組織として機能することが不可能な状態にまで陥りました。



しかし、自主防災組織が家庭の予防防火を担えるのか、という課題を抱えることとなりました。

そこで、当婦人防火クラブでは、クラブの組織見直しに取り組み、役員会を何度も重ね見直しの方向性を話し合いました。様々な意見が出る中で、かつてと同じ組織を構成することが難しい現実が見えてきました。検討した結果、全ての行政区で組織化されている自主防災組織の中に、予防防火を担当する役員を配置するという構想にまとまりました。その後は、行政区長や自主防災組織の代表者に集ってもらい、組織の見直しを行い、予防防火の重要性を説明し、理解を得ることができました。

現在では、各自主防災組織に新たに設置された予防防火推進員という役員が婦人防火クラブの会員を担い、自主防災組織と婦人防火クラブが一体となった組織運営がスタートしました。

近年は大型の台風や大地震など広域に被害を及ぼす災害が全国各地で発生しています。その中で、予防防火を推進する婦人防火クラブの役割を次世代に引き継いでいけるよう今後も活動を続けてまいります。



広告

あなたのおうちは大丈夫？

住宅用火災警報器は、
10年を目安に交換をおすすめします。

NOHMI 能美防災株式会社
東北支社：〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-20

住宅用火災警報器 **まほろん**
国家検定合格品



GOOD DESIGN AWARD
2019年度受賞

単独型 部屋の美観を保つ、コンパクトタイプ



煙式
・FSKJ225-B



熱式
・FSLJ015-B

無線式連動型 別の階や離れた部屋での火災もいち早くお知らせ



煙式
・FSKJ226-M



熱式
・FSLJ016-C



仙南地区婦人防火クラブ連合会の活動

仙南地区婦人防火クラブ連合会

会 長 青 木 孝 子

当連合会は、県の南部に位置する2市7町の婦人防火クラブの連合会組織として昭和56年12月に発足しました。管内は西に山形県、南は福島県に隣接しており、古くから街道の要衝として栄え、東北新幹線や、東北・山形自動車道、JR東北本線が貫き、それらを活かしての農業、工業、商業、観光業と幅広い産業が発達してきた地域です。

「自分たちの地域は自分たちで守る」というスローガンを掲げ、現在、単位クラブ470、クラブ員約50,000名が防災訓練や防火講話、住宅用火災警報器の普及啓発活動等、各地域に根差して様々な活動を行っております。



また、連合会行事としては、隔年交替により「リーダー研修会」と「クラブ員研修会」を実施しております。今年度は10月9日、蔵王町ふるさと文化会館（ごぎいんホール）において、第16回仙南圏域婦人防火クラブ員研修会を開催しました。研修会にはクラブ員約400名が参加し、仙台市防災・減災アドバイザーの及川由佳里先生から「防災・減災対策に女性の視点を～災害の教訓を日頃の備えに～」と題して講演を頂き、防災減災対策に女性の視点を取り入れ、多様な視点により対策を行うことで、より対策は強化されますが、何よりも日頃の訓練、備えが一番大事ですと話していただきました。

その研修を終えると間もなく、東日本の広範囲にお

いて台風19号の豪雨に見舞われました。被害に遭われた皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

私達の住む仙南地区においても、床上や床下浸水が各地区で発生し、特に丸森町では甚大な被害に遭われたことに心が痛みます。私も丸森町金山地区にボランティアとして入りました。男性は泥あげ、女性はずぶ濡れた品々の片付けです。その重さといったら大変なものでした。寒さが厳しくなるこれからが大変だと後ろ髪をひかれる思いで帰途につきました。



日本各地で台風や豪雨等の自然災害が相次いで発生している昨今、私達婦人防火クラブ員の果たす役割は益々重要になっているように思われます。

防災の基本は「自助」それが出来れば「共助」につながり、防災への関わりが地域防災力を向上させます。少しでも貢献出来るように努力してまいりたいと考えております。

最後に、令和元年台風第19号による災害発生時には県内はもとより全国の皆様から多くのご支援を頂きました。一日でも早く復旧復興して元気な街、人々の姿を見せることが出来ればと考えております。本当にありがとうございます。



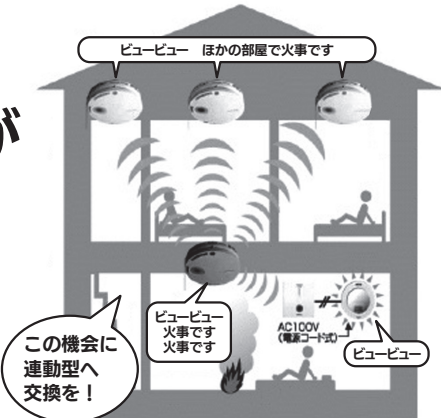
広告

住宅用火災警報器は

設置後

約10年が交換の目安です

古くなると、電子部品の寿命や電池切れなどで火災を感じない恐れがあります。



ビュービュー ほかの部屋で火事です

ビュービュー 火事です

AC100V (電線コード式)

ビュービュー

この機会に連動型へ交換を！

1ヶ所で検知すると、家じゅうにすばやくお知らせする【連動型】



火災の早期発見におすすぬ!

株式会社古川ポンプ製作所

本 社 宮城県大崎市古川中里一丁目10-29 TEL0229-22-0396
支 店 岩手県一関市山目字中野34-2 TEL0191-25-5221
営業所 宮城県仙台市青葉区柏木1-1-53 TEL022-275-3301

消火器の訪問点検・販売にご注意!

不適正な消火器の訪問点検・販売の事案が県内各地で発生しています。消防署では消火器の訪問販売は行っていないので、「消防署から来ました」などと言われても信用してはいけません。また、もし購入してしまっても、一定期間内であればクーリングオフ

制度を活用できる場合がありますので、すぐに消防署や警察に相談しましょう。

地域の皆さんに対し、定期的に家庭にある消火器の使用期限の確認を促すとともに、訪問点検・販売への注意喚起をお願いします!



消防防災トータルサポート 株式会社岩手総合商事

【本社】〒029-0132 岩手県一関市滝沢字草刈場135番地20 TEL:0191-48-4433 FAX:0191-48-4432
 【青森営業所】〒039-1111 青森県八戸市東白山台4丁目14-5 TEL:0178-20-7288 FAX:0178-20-7289
 【仙台営業所】〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町1丁目18-8プロミンス萩野町201号 TEL:022-355-8884 FAX:022-355-8894



広告

皆様には常日頃LPガスをご愛顧賜り、誠にありがとうございます。
 当協会は、県内の全LPガス販売事業者と一緒に、皆様が快適な生活を過ごせますよう、今後も努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



◆地震が起きた時の心構え◆

地震が発生したら、まず第一にご自身やご家族の安全を確保することが大切です。日頃から、ご家庭にて有事の際に取るべき行動をご家族と確認しておきましょう。

心構えその1

自分の身を守りましょう

まず、身の安全を確保して下さい。(玄関や勝手口の扉、窓などを開けて逃げ道を確認しましょう。)

心構えその3

巨大地震後にガスを使用する時には

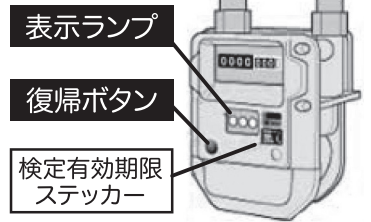
- 自宅のLPガスボンベ等が倒れていないことを確認して下さい。
- 地震発生時(震度5程度以上)、ガスを使用していた場合はマイコンメーターが自動的にガスを遮断していることがあります。
- この場合、ご自身でマイコンメーターの復帰操作※を行えば、ガスがご使用になります。日頃から、販売店に確認しておくことで役立ちますね。
※右記「マイコンメーターの復帰方法」をご参照下さい。

心構えその2

火の始末をしましょう

器具栓、ガス栓及び容器バルブを閉めて下さい。

マイコンメーターの復帰方法



すべてのガス栓・器具栓が「閉まっていること」を確認してください。マイコンメーターの[復帰ボタン]のキャップを外し、ボタンをしっかり押して[表示ランプ]が点灯したら手を離してください。1分後、ランプの点滅が消えていれば、ガスは安全にご使用出来ます。

※この方法でガスが使用出来ない場合は、販売店に連絡して下さい。

●LPガスを安全に使用するため、又、LPガスが使用出来なくなった時に備え、LPガス販売店の緊急連絡先「電話番号」を確認しておきましょう。

【一般社団法人 宮城県LPガス協会】 〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-5-22 TEL.022-262-0321

婦人防火クラブ会員の皆様も、ぜひ「宮城県防災指導員」に!!

宮城県では、地域における災害対策に関する活動の中心的な役割を担う「宮城県防災指導員」を養成しております。宮城県防災指導員には、養成講習を受講することで認定され、知事から認定証及び腕章が交付されます。

例年、町内会役員や自主防災組織役員、消防団員等に加えて多くの婦人防火クラブ会員の方にも養成講習を受講していただいております。

昨年度は60名を超える婦人防火クラブ会員の方に養成講習を受講していただきました。なかでも、大郷町で開催された防災指導員養成講習では、受講者全員が婦人防火クラブ会員でした。1日の講習を通し、地震や風水害等の基礎知識や対策について学んでいただいたり、地域の地図を囲んで危険箇所などを書き込む演習 (DIG (ディグ)) や避難所運営を図上で体験できる演習 (HUG (ハグ)) を実施していただきました。参加者の皆様からは、「大変勉強になりました」「具体的な内容でわかりやすかった」「普段聞けない講習を受けられた」など、好評をいただいたところです。

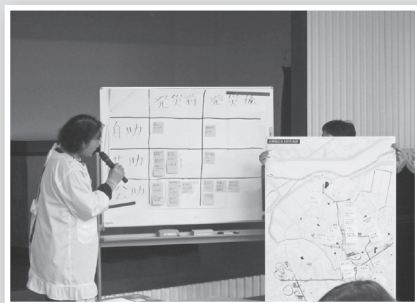
近年、東日本大震災などの経験を踏まえ、避難所運営や要配慮者への支援をはじめとする災害対応において、女性の視点は、これまで以上に重要であると言われております。

その一方で、宮城県防災指導員の女性の人数は年々増加しているものの、依然として、その比率は男性に比べて低く、今後より一層、女性防災指導員の養成やスキルアップ等を進め、地域の防災活動での活躍の推進を図ることが重要となります。地域防災力のさらなる向上のために、婦人防火クラブ会員の皆様には、是非、地域での防災活動の中心的役割を担う「宮城県防災指導員」になっていただければと期待しております。

防災指導員の詳細につきましては、宮城県総務部危機対策課ホームページを御覧下さい。

宮城県防災指導員ホームページ

(<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kikitaisaku/ks-bousaisidouin28.html>)



～自分達の地域から火災を出さない 自分達の地域は自分達で守る～

宮城県婦人防火クラブ連絡協議会

事 務 局 〒980-8570 仙台市青葉区本町3-8-1
宮城県総務部消防課内 (宮城県庁5階)
TEL (022) 211-2374 FAX (022) 211-2398